

IV 事業概要

2 学校教育事業

(8) モジュール学習

「モジュール学習」とは、2011年度から実施された新学習指導要領に明記された博物館等利用の実践のために、本館の展示物や実験器具を活用する観察・実験型学習プログラムである。仙台市科学館では、仙台市内に限らず、多くの小・中学校に科学館を学習の場として利用してもらうことを目指し、2009年度から新たに館内学習プログラムの開発を行っている。特徴は、10～30分程度の短時間で完結する指導案（モジュール）を基にして、科学館職員ではなく、日常的に指導を行い、児童生徒を理解している引率した先生方が授業を展開する点である。

モジュールは、先生方が子どもたちの実態に合わせて自由に選択し、構成することができる。また、必要な教材や器具は科学館で準備するため、指導にあたる先生方の準備に係る負担は少ない点が特徴である。下見の際に先生方と館のモジュール学習担当が打ち合わせを行い、指導法や注意点を確認した上でモジュール学習を行うこととなっている。

今年度の利用状況は次の通りである。また、現在まで開発を行ったモジュールの内容も示す。

地域・校種・学年	児童生徒数	保護者	日時	内容
市内小学校 3年生	90名		5月28日 10:00-	シャボン玉
市内幼稚園	90名	90名	5月31日 10:00-	シャボン玉
市内小学校 特別支援	8名		7月5日 13:00-	凧づくり
市内小学校 2年生	92名		9月5日 10:00-	シャボン玉
市内小学校 3年生	123名		9月6日 10:00-	トンボの体のつくりを調べよう
市内小学校 2年生	79名		9月27日 10:00-	シャボン玉
市内小学校 2年生	39名		10月3日 10:00-	シャボン玉
モジュール学習計	611名			



モジュール学習「シャボン玉」の様子